

# ななかまど

札幌市立中島中学校  
学校通信 第1号  
令和7年4月10日

新たな1年の始まりにあたって

校長 桑原 俊二

まだまだ風が冷たく感じる日もありますが、ようやく雪も解け、待ちに待った春が訪れました。この度本校に着任いたしました校長の桑原俊二と申します。皆様、よろしくお願いたします。

中島中学校は、今年度で開校から78年を迎えます。市内でも有数の歴史を誇る伝統ある学校に着任し光栄に感じるとともに身が引き締まる思いであります。校長室には歴代の校長先生の写真が並んでおり、厳しく見つめられています。責任の重さを痛感しております。

毎朝地下鉄で通勤し中島公園を通っています。樹々と池に囲まれ小鳥の鳴き声が聞きながら幸せで清々しい気持ちになっています。近隣には豊平川が流れ、歴史ある神社もあり、見上げれば藻岩山を間近に感じ、学校の前を市電が通ります。豊平館をはじめキタラや文学館といった文化施設もあります。ここ中島の地は、札幌らしさを凝縮した街であることを実感しています。札幌に生まれ、大学の4年間以外は札幌で暮らす私は、「札幌っていいな」とあらためて思います。

さて、8日（火）始業式、9日（水）入学式をもって中島中学校の新たな1年間が始まりました。式の中で「夢をもって前に進みましょう」と全校生徒に語りました。教育の場に限らずしばしば登場する「夢」ですが、この漢字に人や人の動作を表す「にんべん」を書き足すと「儂い」という字になります。夢の実現がいかに難しいことであることを表しているように思います。

しかし、夢が実現するか、儂く霧のように消えてなくなるかは、その人の意志と努力によるのだと思います。プロ野球のレジェンドプレイヤーのイチローさんは「夢は見るものではなく叶えるもの」と言っています。また、先人は「努力に勝る天才なし」と教えています。

生徒の皆さんには、ぜひ夢をもち、その実現に向けて努力を重ね自分を磨く、そんな人生を送ってほしいと思っています。また、その夢が結果的に儂く叶わないものであったとしても、積み上げた努力と挑戦は、人生を豊かなものにするのだと思います。

私にはたくさんの夢があります。実現できたものが少しだけありますが、道半ばのものもあり、残りの人生を考えると「儂く消えそう」なものもあります。ただ、間違いなく言えることは、夢の実現のために、自分なりに努力してきた私の人生は「楽しい」ということです。

もちろん私にも悲しいことも苦しいことも少なからず（たくさん！）ありました。しかし、総じて言えば間違いなく「楽しく充実」しています。ちょっとだけですが幸せも感じています。何年か後に「楽しくしあわせだったな」という気持ちで人生を終わりたいものです。

夢と希望にあふれた1年が始まりました。春はワクワクが止まりません。